



やませみ

学校だより（特別号）

令和4年10月25日

伊豆市立中伊豆小学校

文責 杉山 宏次（教頭）

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

全国学力・学習状況調査が4月19日に実施されました。本校では6年生が参加しました。この調査では、子どもたちの学力の定着状況や生活習慣等を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

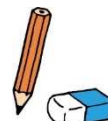
本校の児童の長けている点や改善点が見えてきました。ご家庭でもこの結果をふまえ、学習や生活習慣を振り返るよき機会としていただきたいと思います。

1 調査結果の概要

① 教科に関する調査結果（本校平均、市平均正答率と全国との比較）

平均正答率	小学校・義務教育学校 6年生		
	国語	算数	理科
R3本校	△	◎	
R4(伊豆市)	○	△	△
R4 本校	○	△	△

◎：全国+3.0ポイント以上
 ○：全国 0～+2.9ポイント
 △：全国 0～-2.9ポイント
 ▲：全国-3.0ポイント以下



中伊豆小学校では、国語は全国平均を上回りました。言葉の特徴や使い方に関すること、漢字を文中で正しく使う問題はできていました。しかし、登場人物の相互関係について、描写を基に考える問いや中心となる語や文を見つけて要約する問いができませんでした。今後の対策として、文章の主旨を要約する学習や他の教科においても「目的に応じて、必要な情報を見つける」学習活動を取り入れていきます。

算数は全国平均を少し下回りました。「数と計算」は全国平均を上回りましたが、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する問い」や「図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解する問い」ができませんでした。今後の対策として、図形を構成する要素やそれらの関係に着目し、図形の作図の仕方について、道筋を立てて考える学習活動を取り入れていきます。

また、一人一台のタブレット端末を活用したコンピュータによる作図や友達との意見交流をする協働的な学びを取り入れていきます。

4年ぶりに実施された理科は全国平均とほぼ同じ数値でした。ナナホシテントウを対象として、葉の裏に見つけた卵から見いだされた問いを基に、観察の記録が誰のものであるかについて問う問題は、よくできていました。また、実験器具等の使い方などの基本的な知識・技能は定着しているようです。子どもたちからの「なぜ？」「どうして？」の気持ちを大切に、実験や観察から実証できる学習活動を多く取り入れていきます。

本校では、調査結果から見えてくる課題を踏まえて、授業改善や学習指導の改善と充実を推進いたします。

裏面に続く

児童質問用紙調査結果の傾向

全国や県に比べて高い項目

- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 国語の勉強は大切だと思う



全国や県に比べて低い項目

- ▲自分には、よいところがあると思いますか
- ▲自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

と答えた児童が全国や県の平均よりもかなり高い数値となっています。コロナ禍ではありますが、伝統となっている地域行事に幼少の頃より参加し「心」を養ってきた中伊豆小学校の児童ならではの「良いところ」ではないでしょうか。学校と家庭、地域が連携して子どもたちのより良い成長ができるよう、今後もご支援をよろしく願いいたします。

令和3年度同様に「自分には、よいところがある」の数値が気になりました。本校の児童は素敵なところがいっぱいあるにも関わらず、自己肯定感が低いということになります。そこで、学校では、児童一人一人の「よいところ」を意図的に見つけ褒めて認めることを行います。学級では、帰りの会等で「いいこと見つけ」を取り入れたり、担任がそれを価値付けたりしています。ご家庭でもお子さんの良いところをたくさん褒めていただきたいです。

② ご家庭で大切にしていきたいことを4点お願いいたします。

○スマートフォンやコンピュータの使い方の約束を守りましょう

ご家庭でテレビゲームの時間や情報モラルなどについて話し合いルールを決めましょう。

○本や新聞を読みましょう

ご家庭での家族読書を推奨いたします。読書することで「知恵の輪」が広がります。

○自分で計画を立てて学習や生活をしましょう

休日にも計画的に学習をしましょう。

○子どもの「よいところ」をもっと認めましょう

学校や家庭、地域が連携して子どもの「よいところ」をたくさん褒めて認める場をつくりましょう。

